

G8サミット直前東京行動

**SHUT DOWN!**



**貧困**

**環境破壊**

**G8サミット**

6月28日(土)

分科会：午後 都内各所

全体会：18:00～ 資料代 500円

文京区民センター 3A (文京区本郷 4-15-14)

地下鉄有楽町線、有楽町線 3分、水道橋駅 10分

スーザン・ジョージ講演

北海道行動の紹介等



weblog ⇒ <http://www.jca.apc.org/~g8/np/npblog10>

6月29日(日)

オルタナティブサウンドデモ!

新橋柏木公園 (新宿区西新宿 7-14-18)

大江戸線新橋西口駅 2分、JR 新橋駅 7分

集合 14:30 ⇒ 出発 15:00



# 生活の営みを破壊する「軍事化」を許すのか?

2008年7月7日から9日まで北海道でG8サミット(主要国首脳会議)が開かれます。日本政府が洞爺湖サミットを「ホスピタリティ(もてなしの心)」をもって歓迎する準備を進める一方で、G8サミットに異をとらえる人たちが北海道をはじめ日本中でサミットを「もてなさない」準備を進めています。

私たちは、サミット開催地である北海道には、海外派兵の既成事実を積み上げ、米軍との一体化を進める自衛隊の42%が駐留しているという現実注目しながら、改めて「軍事力と平和」について考えるためのシンポジウムを東京で開催します。

米軍の存在によって常に安全に生きる権利を脅かされてきた沖縄の女性や子どもたちの経験、北海道での自衛官によるセクハラ裁判支援からみえてきた軍隊そのものがもつ抑圧性や密室性、アメリカの植民地支配下に置かれて生活を破壊されてきたグアムの先住民チャモロの経験から考え、また、日本の軍事予算分析、日本のメディア報道からは見えてこない中国の軍備状況の分析も共有します。

これらの議論を通じて、軍事力は民衆を守らない＝真の平和を創るためには非軍事化の道しかないという平和に対する根本的な立場を再確認し、日本の偏狭なナショナリズムや日本に生きるマイノリティに対するバッシングに足を絡め取られることのない反軍事・反基地の言説を鍛えたいと考えています。ぜひご参加ください。



日にち：2008年6月28日(土)

時間：13:15～17:00

場所：文京区男女平等センター研修室A (地図は次頁)

入場料：800円(前売り券500円)

共催：アジア女性資料センター、新しい反安保行動をつくる実行委員会、ピープルズ・プラン研究所

賛同団体：北海道ピースネット、女たちの戦争と平和資料館 (2008年5月27日現在)